

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行について（警報）

令和8年9月17日（木）15時00分

北海道帯広保健所

（北海道十勝総合振興局保健環境部保健行政室）

TEL 0155-26-9082 FAX 0155-25-0864

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和8年第37週（令和8年9月7日～9月13日）において、帯広保健所管内の定点あたりのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数が、警報基準である8人以上となりましたので、まん延を防止するため警報を発令します。

今後、帯広保健所管内において流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いします。

記

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、突然の発熱、咽頭痛、リンパ節の腫れ、おう吐を主症状とする細菌性の感染症で、冬期及び春から初夏にかけて流行します。

熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化することがあります。

2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の感染予防

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の感染予防には手洗い・うがいが有効です。人との接触や飛沫で感染するため、集団感染への注意が必要です。

3 その他

（1）最近5週における定点医療機関からのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告状況

（表示は「報告数（患者/定点あたり）」単位：人）

	第33週 (8/10～8/16)	第34週 (8/17～8/23)	第35週 (8/24～8/30)	第36週 (8/31～9/6)	第37週 (9/7～9/13)※
帯広保健所	9 (3.00)	11 (2.75)	20 (5.00)	23 (5.75)	33 (8.25)
全道	95 (1.06)	154 (1.60)	185 (1.89)	191 (1.95)	218 (2.22)
全国	1,728 (0.82)	2,421 (1.09)	2,878 (1.28)	3,094 (1.38)	- (-)

※第37週の患者報告数は速報値

全道のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。（URL：<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）

（2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により把握した、帯広保健所管内の小児科定点医療機関を受診したA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者数が、国立感染症研究所において設定した警報レベルの基準値に達したときに発令し、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報レベル＞

	開始基準値	終息基準値
定点あたり患者数（人）	8	4